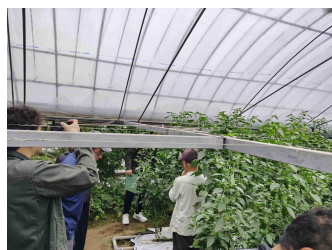


普及活動情勢報告（令和8年5月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

促成ピーマンで天敵を活用しよう

～J A高知県四万十興津ハウスピーマン部会目慣らし会及び現地検討会～



4月23日、J A高知県四万十興津ハウスピーマン部会が目慣らし会及び現地検討会を開催し、生産者4名が参加しました。

農業改良普及所は、土着天敵であるタバコカスミカメの活用の継続を呼びかけるとともに、四万十町内ピーマン生産者間でのタバコカスミカメのリレーを呼びかけました。

生産者からは、「天敵を利用して、農薬散布の回数が減った」「次作も天敵を活用したい」といった意見が出ました。

農業改良普及所は、今後もJ Aと協力して促成ピーマンの総合防除を推進します。

四万十川を守ろう ～水稲の浅水代かき実演会～



4月30日、高知県自然共生課が、四万十町の水稲ほ場で浅水代かきの実演会を開催し、生産者や関係機関職員など15名が参加しました。

以前より、水稲の代かき（田植え前にはほ場を均一にならす作業）時に、濁水が水路に流入し、四万十川に流れ込むことで川の濁りの一因になることが問題となり、対策が取られてきました。

今回、農業改良普及所は講師として、濁水の水路への流入を防ぐ方法として、浅水代かきの遣り方やメリットを説明し、参加者の理解を図りました。

農業改良普及所は、今後も関係機関等と協力して四万十川の保全に取り組めます。

苗の調子はどうやろう ～J A高知県四万十エコ栽培米生産部会現地検討会～



5月11日、J A高知県四万十エコ栽培米生産部会が育苗現地検討会を開催し、生産者7名が全部会員のはほ場を巡回しました。

農業改良普及所からは、今年見られた育苗時の病害や生育障害について情報提供するとともに、個々の育苗状況を確認し、田植えまでの育苗管理、田植えのタイミング等について指導しました。

生育状況は良い生産者が多く、「今年は苗の生育が早いように思う」などの声が聞かれました。

農業改良普及所は、今後もJ Aと連携し、定期的な現地指導を通して、エコ栽培米の生産振興を図ります。

農福連携マッチング支援 ～ニラの調製作業体験会開催～



5月15日、四万十町のニラ農家でニラの調整（そぐり）作業体験会を開催し、ニラ農家1戸、四万十町社会福祉協議会の要支援対象者2名、及び支援者4名が参加しました。

農業改良普及所は、開催に向けての日程調整や、当日の体験作業のフォローを行いました。

要支援対象者は、最初は「そぐるかどうかの判断に迷う」と言っていましたが、作業に慣れてくると、スムーズに調整することができ、農家は作業委託に向けて手応えを感じているようでした。

農業改良普及所は必要に応じてフォローを行い、今後も農福連携のマッチングを支援します。